

兵庫県民間病院協会会報

2024

12

令和6年 通巻646号

目次

巻頭言	（一社）兵庫県民間病院協会 理事 吉田 寛	1
随筆		
あらためて消費税から考えてみた	（一社）兵庫県民間病院協会 副会長 森 光 樹	3
地域とともに歩む新たな挑戦	（医）尚和会 宝塚第一病院 事務長 藤田 祐 司	4
歩く事は発見！	（医）康雄会 西記念ポートアイランドリハビリテーション病院 看護部長 高田 郁 子	5
理事会報告		7
「令和6年 年末特別講演会・懇親会」の開催について		9
病院かわら版	（医）信和会 めいわりリハビリテーション病院	10
エリア情報（神戸・東阪神・西阪神・東播・西播）		12
協会だより		18
（一社）兵庫県全日本病院協会だより		19
兵庫県病院協同組合だより		23
兵庫県病院企業年金基金だより		24

音色の妙

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(医)寛仁会 吉田アーデント病院

理事長・院長 吉田 寛



音の分類の純音・楽音・雑音のうち楽音は、基音の2倍3倍4倍という倍音が規則正しく鳴っている音であるとのことです。音を作る3つの要素は、高さ（振動の速さ）強さ（振動の大きさ）音色（倍音の含み）とされています。倍音の含みの広がりによる音楽の力は、音色の妙と言えると思います。振動体は声帯・楽器のみならず、奏者の身体そのものも含まれると感じます。音楽は音色を聴覚で知覚するのみならず、その振動に体全体が共鳴する時に、生命力の流露を感じます。

今年も終わろうとしていますが、来年は所謂2025年問題（団塊世代が75歳以上の後期高齢者になり、社会保障費の負担増大・医療介護体制の維持困難・後継者不足による廃業による雇用とGDPの喪失などが生じる）により、医師、看護師、介護人材の不足・介護難民の急増・認知症高齢者の急増・維持費高騰などが予想され、厳しい病院経営環境は今後も続くと考えられます。思考を柔軟に保ち、来る時代に備えたいと思っております。

気分転換に聞く音楽は、私にとっては掛け替えのないものになっています。音楽については、私は雑食で、肉声に訴えるものが主ですが、その嗜好は、クラシック、オペラ、リード、カンツォーネ、シャンソン、ロシア民謡、軍楽隊、ジャズ、ラテン、フォルクローレ、ボサノバ、J-POP、演歌、C-POP、K-POP、トロット、ポンチャク、POP、ロック、ディスコ、ラップ等々。語学の勉強を兼ねて、真似て口ずさむ時もありますが、スラングも多く、興味深いものがあります。音色の妙により、体全体の反応も音楽により随分違うものがあると感じています。

振動の規則性のない雑音は、車などの交通音を含め環境音などを意味するとのことです。初めて歩く街角の生活音は、意味深いものを感じます。音色の妙はないのですが、風の音、潺の音、樹木の身を揉む音などの自然の音は、心洗われるものがあります。季語には感覚が研ぎ澄まされた結果、存在しない音まで聞き取り、「亀鳴く」「田螺なく」「ミミズ鳴く」「蓑虫鳴く」などがあるようです。

音楽療法について、私は全く経験がありませんが、音楽を聞くことによるリラクゼーション効果やストレスの軽減、歌を歌うことによる身体機能・精神機能の賦活、QOLの向上などの効果が報告されています。規則性・不規則性の音とリズムが調和しながら揺らぎを醸し出し、自律神経を整え、セロトニン・ドーパミンの分泌を促すことにより、リラクゼーション効果をもたらすとされています。

量子力学的に全ての物質は素粒子より成り立ち、人間も素粒子の集合体と見做されています。素粒子は常に振動しており、個体は種々の振動波動を有し、個性を形成しているようです。音色の振動波動が我々の振動波動と共鳴する時に、生命力を賦活すると思われます。聴覚のみならず、五感を通して感知する振動波動が、種々の活力を興起する中で、生命力の漲る音源を、来年も探し続けていきたく存じます。



あらためて消費税から考えてみた

(一社)兵庫県民間病院協会副会長
(医社)一葉会 佐用共立病院

会長 森 光樹



秋の衆議院選挙の与野党逆転や兵庫県知事選挙のSNS選挙騒動、名古屋市長選挙結果を見ると選挙も変わってきたと思いましたが、もし選挙に私が出るなら消費税減税を訴えたいと思います。いわゆる減税、積極財政ですね、特に医療における消費税問題の解決の為には寄与すると思います。

消費税は事業者の負担を求めるものではなく商品やサービスの最終的な消費者が負担するものです。しかし医療（社会保険診療）は非課税ですので患者さんは消費税がかかりません。ただ病院が医療を行うため医薬品や医療器械、設備等を仕入れる際には仕入れ額控除ができず医療機関が消費税を払っていて、これが病院にとって大きな負担になり病院経営を圧迫しています。国は消費税を上げる度に診療報酬改定で医療機関が支払う消費税に応じた上乘せ措置をしていると言いますが、どこでどれだけ上乘せされているのかはなはだ不明確です。（もともと補填額が少ない？）

そもそも消費税は年金、医療、介護、子供、子育て支援にあてられるとなっていますが令和4年度をみると消費税収は国が17.4兆円、地方交付されるのが7.3兆円で国の計画総額の45.3兆円には足りていませんから財務省は消費税のさらなる引き上げを模索しているように聞きます。ところでこの消費税は医療介護にどれくらいどんなふうに分配されているのでしょうか。少し調べましたがよくわかりません。税収が計

画よりは少なかったけれど計画の比率に合わせおおまかに計算すると医療介護には8.6兆円となります。しかしその割り振りは不明です。なんだかブラックボックス化していますよね。

ところで令和4年度の国民医療費は46兆7000億円、このうち国が負担しているのは25% 13兆円、一方国民の負担は45%で消費税収入分を差し引くと国の持ち出しは4.4兆円にしかすぎません。米国に比べ10分の1程度。実は我が国の医療費対GNP比は約8%です。世界先進国中でもっとも低い値です。なんだか増え続ける医療費が国家予算を圧迫している？とニュースで報じますが、そもそも1960年代の平均寿命60歳代とくらべて平均寿命は男女とも80歳を超えています。高齢化が進み医療を必要とする方が増えているのです。自然増なのです。それに医療費の3分の1は薬、診療材料で占められるので病院、医療従事者に回される金額は少ないのです。こうして考えると消費税は病院にとって負担にはなるものの、明らかな恩恵が見えてこないのです。

国は小手先ばかりの医療保険点数の改定ではなく医療介護費の総額をもっと増やす枠組みを考えるべき時だと思います。高齢化社会の日本の医療介護の需要は増えていくし、それに携わる人も増えていくのですからこの経済効果は大きなものがあります。

最初の消費税からずいぶんと話が逸れてしまいました。

地域とともに歩む新たな挑戦



(医)尚和会 宝塚第一病院

事務長 藤田 祐司

今年も冬の冷え込みが一層深まり、街角には温かみのあるイルミネーションが灯り始めました。季節の移ろいと共に、今年も師走を迎え、忙しい雰囲気を感じられる頃ですが、私にとっては大きな変化と挑戦の一年でした。

宝塚第一病院で23年間診療放射線技師として勤務してきた私は、この7月に事務長補佐となり、10月からは事務長という新たな役職に就任いたしました。医療現場を支える診療放射線技師の仕事から、病院全体の管理運営に関わる立場へと大きく役割が変わり、日々試行錯誤を重ねております。畑違いの新たな任務には不安もあり、右も左も分からぬまま走り続けている毎日です。同じ医療法人尚和会の他施設で経験豊かな事務長の方々に助言を求めながら、少しずつ病院の運営全体に目を向けるという視点を学んでいるところです。

宝塚第一病院は、地域の皆様に長年支えられ、共に成長してきた地域密着型の病院です。特に昨今、地域の高齢化が急速に進み、それに伴い医療への需要も高まっています。私自身、診療放射線技師として多くの患者様と向き合い、地域における医療の意義を日々感じてきました。新たな立場で地域医療を支える中で、今もこうして「顔が見える医療」を提供し、患者様一人ひとりに寄り添うことの大切さを実感しています。これまでの23年間で培った院内の人脈や信頼関係は、私にとって大きな財産です。この人脈を最大限に活かし、皆様に信頼される病院運

営を目指したいと考えています。

一方で、医療を取り巻く環境は大きく変化しており、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した今も、医療機関は依然として厳しい経営環境に直面しています。さらに、看護師をはじめ人材の確保もますます難しい状況です。こうした課題を背負いながら、尚和会全体が協力し、地域の皆様に寄り添う医療を提供していくことが求められています。法人内の連携を深め、各職員が力を合わせて困難を乗り越え、地域に信頼される医療機関としての存在感を高めることが必要です。

事務長という立場に立ち、今までの医療現場とは異なる視点で業務にあたる日々には戸惑いもありますが、診療放射線技師としての経験や患者様に寄り添ってきた日々が、新たな視野での地域医療を支える一助となると信じています。「顔が見える医療」を心がけてきた姿勢や、患者様の声を丁寧に受け止める姿勢が、これからも病院全体の運営に反映されるよう努力を重ねていきたいと思っています。特に冬の寒さが厳しいこの時期、地域の皆様が安心して年末年始を迎えられるよう、宝塚第一病院が温かく、頼りになる存在であり続けることが何よりの願いです。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですが、地域の皆様が穏やかな年末を過ごせるよう、私自身もこの新たな挑戦を続けながら、病院の信頼向上と安心を提供する医療の実現を目指してまいります。どうか今後とも温かいご支援とご指導を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

歩く事は発見！

(医)康雄会 西記念ポートアイランドリハビリテーション病院

看護部長 高田 郁子



今年も気温の上昇、熱中症、大雨、洪水頻度の増加、地震と気候変動の変化が目まぐるしく起こった1年でした。あと1か月で今年も終わりますが、まだまだ予断を許さない状況かもしれません。

昨年1月大雪が降り、交通機関も不通になった1月25日に、私は転倒、骨折。不運の幕開けでした。どんなに若づくりしても体力の衰えは隠せないと改めて認識。効果的に体を動かさないか？と考え「有酸素運動＝走る・歩く」と単純に思い三宮から港島内の自分の病院まで往復徒歩で通勤することにしました。

私の勤務する病院は、神戸市中央市民病院の道を挟んで山側に開設しています。三宮駅から5～6kmほどの道のりです。速足で歩いて45分～50分で到着します。今年の冬から始めましたが、走っている人もいたり、スーツ姿のサラリーマンが歩いたりしているのにびっくりしました。朝は特に自転車に乗っている人が多く、ぼんやりと歩いているとぶつかりそうになります。

神戸大橋の上の海風を感じながらひたすら歩きます。何も考えず、ひたすらゴール目指して……。そうすると普段目に留まらないような風景が新鮮に感じ、私の不思議？が湧き出します。「このサラリーマン、職場に着いたらワイシャツ汗まみれ？」「朝からそんな格好でどこ行くの？」と、どうでもいい事が気になってしまいます。(夏は、)ポートターミナルに豪華客

船が停泊していると望遠カメラやスマホ片手にマニアが集まって大橋の上は人だらけです。大橋を抜けると中公園に入ります。ここでもまた不思議な人が公園にいます。「この人はこんな寒い中、何故石の上に座ってるのかな？大丈夫？」とか人の様子が気になります。

そんな中、ふと立派な銅像が目に入りました。「原口忠次郎」と彫られています。誰なのか気になって調べてみました。昭和24年から昭和44年まで5期20年務められた元神戸市長だそうです。京都帝国大学工科大学土木工学科を卒業後、内務省に入省、各地の土木出張所長を歴任されており、「技術屋市長」として、山を削った土で海面を埋め立ててポートアイランドを整備し、山を削った跡をニュータウンなどとして開発事業を行ったことから、『山、海へ行く』事業と呼ばれていたそうです。鶴甲、渦森大、住吉川、六甲山トンネルを含む六甲有料道路、神戸ポートタワー、神戸高速鉄道、三宮地下街、明石海峡大橋の実現に向けた調査などに手腕を振るったそうです。どれも今の神戸には欠かせない物ばかりです。1969年には「神戸市名誉市民」第一号となり、1976年86歳でお亡くなりになっています。没後に中公園や舞子公園に偉業を記念したモニュメントが建立されたそうです。

歩いてみると、いつもと違う景色を見るだけでなく、いつも感じない感情、感動、発見が生まれ、「さあ、今日も一日頑張るぞ！」と元気になります。実は、このウォーキングの成果で、

歩き始めてから3か月で-15kgのダイエットにも成功し、いまでも維持できています。

日々の仕事では、診療報酬改定、働き方改革、

慢性的な人手不足等色々な悩みもありますが、これからも新しい発見を積み重ね、前を向いて生きていくぞと思う日々です。

これからの医業経営へ、「信頼」で結びたい。



医療・保健・介護・福祉施設が抱えるあらゆる課題を、資格認定されたコンサルタントが解決します。

『認定登録 医業経営コンサルタント』は、医業経営に携わる方々が直面する課題に的確・迅速に対応するため、所定の継続研修を履修し、常に資質の向上を図っています。

JAHMC
Japan Association of Healthcare Management Consultants
公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会

〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザビル5階
TEL:03-5275-6996 FAX:03-5275-6991 <http://www.jahmc.or.jp>

令和6年度 第6回

理事会議事録(速報)

I 日 時 令和6年11月21日(木)
15:05～16:15

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第4・5会議室

III 出席者 理事総数20名 出席理事15名
監事総数2名 出席監事2名
理 事：西昂(会長)、高橋玲比古(副会長)、
橋本創(副会長)、森光樹(副会長)、
常岡豊、大村武久、那須範満、藤久和、
宮地千尋、吉田寛、森村安史、
譜久山剛、大西尚、東靖人、井野隆弘
監 事：北川透、稲見直邦
オブザーバー：寺岡由佳里(看護部長会会長)

なお、高橋玲比古、森光樹、常岡豊、大村武久、
那須範満、藤久和、宮地千尋、吉田寛、譜久山剛、
大西尚、東靖人はWeb会議システムにより出席
した。

IV 会議の成立

理事15名が出席し、定款第34条に規定する定
足数を満たしており、本理事会が成立した旨確
認された。

V 議 長

西昂会長が、定款第33条の規定により議長と
なった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1) 令和7年度定例理事会等の開催日程に
ついて(共通事項)

橋本事務局長より、資料に基づき、令
和7年度の定時総会及び理事会、また、
近畿病院団体連合会委員会、研究発表会
等の日程について説明があり、協議の結
果、全員一致をもって承認し、可決した。

(2) 兵庫県病院企業年金基金代議員の選定
及び推薦について

橋本事務局長より、兵庫県病院企業年
金基金理事長から任期満了に伴う事業主
を代表する選定代議員の選定及び互選代
議員候補者の推薦依頼があり、選定代議
員には西会長をはじめ6名を選定すると
ともに、互選代議員候補者には橋本事務
局長をはじめ6名を推薦したいとの説明
があり、協議の結果、全員一致をもって
承認し、可決した。

(3) 後援名義の使用承認について(事後承認)

西会長より、兵庫県合同輸血療法委員
会から「令和6年度兵庫県輸血医療従事
者研修会」への後援依頼があり、事後承
認となるが、昨年度承認しており、本年
度も後援名義の使用を認めたとの説明が
あり、協議の結果、全員一致をもって承
認し、可決した。

(4) 兵庫県肝炎対策協議会委員の推薦につ
いて(事後承認)

兵庫県保健医療部疾病対策課長より、

兵庫県肝炎対策協議会委員の推薦依頼があり、協議の結果、引き続き山中若樹会員を推薦した旨説明があり、全員一致をもって承認し、可決した。

(5) **令和7年度役員改選に伴う次期役員候補者の推薦について**

橋本事務局長より、令和7年度役員改選における各支部の役員定数の考え方について説明があった。従前どおり病院数に応じて役員数を割り振ると、西播支部が1病院退会により、現在5名のところを4名となることについて、森西播支部会長から西播支部理事会に諮りたいとの発言があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

〈推薦していただく支部別理事数及び監事数〉

- ・東阪神支部：3名(理事3名)
- ・西阪神支部：3名(理事2名、監事1名)
- ・神戸支部：7名(理事6名、監事1名)
- ・東播支部：4名(理事4名)
- ・西播支部：4～5名(理事4～5名)

(6) **編集委員会からの報告及び会報発行等の見直しについて**

東編集委員長より、資料に基づき、令和7年会報の執筆分担、誌上シンポジウムのテーマ等について、会報編集委員会からの報告があった。

続いて、橋本事務局長より、協会の財政状況と収支改善策としての会報発行等の見直し案についての説明の後、東編集委員長から、会報編集委員会での協議結果として、財政的な制約の下、会報の発行間隔は年6回印刷・発行とし、会報用ファイルの製作及び令和7年度会員名簿の印刷取り止めもやむを得ないとの報告があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

また、今後、会報編集委員会において、年6回印刷の発行月、発行しない月のホームページ上での報告内容、巻頭言及

び随筆掲載の取り扱い等について協議することとなった。

加えて、東委員長より、各役員へ令和7年1月号に掲載する「年頭所感」への執筆依頼があった。

2 報告事項

(1) **令和6年年末特別講演会・懇親会の役割分担について(共通事項)**

橋本事務局長より、前回理事会に諮った役割分担のうち、懇親会の司会を兵庫県民間病院協会の高橋副会長へ変更した旨、報告された。

(2) **経営労務委員会からの報告**

森統括副会長より、資料に基づき、「病院給与・労働条件実態調査」は例年どおり調査依頼を11月下旬、提出期限を2月末、結果送付を4月下旬とすることについて報告された。また、今後の実態調査について、参加病院増加に向けて会報11月号で呼びかけを行うほか、今後、新規参入を促すため入力方法をWebにして簡易にする等、見直しが必要である旨報告された。

(3) **令和6年度兵庫県医師会医療関係者セミナーのご案内**

橋本事務局長より、資料に基づき説明があった。既に事務局から案内をしており、現在、事務局で出欠を取りまとめ中であることが報告された。

(4) **会員の變更について**

西会長から、以下のとおり会員の變更が報告された。

支部名		東阪神
病院名(法人名省略)		立花病院
新会員名	役職	病院長
	氏名	てらだ まさみ 寺田 雅己
旧会員名	役職	病院長
	氏名	いしがみ よしき 石上 義樹
変更年月日		R6.11.1

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。

「令和6年年末特別講演会・懇親会」の開催について

恒例の兵庫県病院関係6団体共催による「年末特別講演会・懇親会」が、12月3日(火)、神戸ポートピアホテルで開催され、会員・来賓約190名が参加して研鑽と交流のひとつときをもった。

特別講演会では、社会保険診療報酬支払基金の山本光昭理事を講師に招聘し、医療機関の管理・経営、それを支える政策、金融支援など、多岐にわたるテーマについてご講演をいただいた。診療報酬改定での「加算」は国が目指す方向への政策誘導であり、医療DX等の事例を示し、対応を躊躇していると人口構成、物価上昇で医療環境が急変している中で取り残されると警告し、『「経営」とは『実行』すること！』との金言を残された。参加者からの関心は高く、質問が相次ぎ、時間をオーバーするほどの熱のこもった講演会となった。

その後、斎藤元彦兵庫県知事をはじめとする多数のご来賓を招いて懇親会が開催され、参加者は会食の場を楽しんだ。

1 日 時 令和6年12月3日(火) 15:00～19:00

2 会 場 神戸ポートピアホテル 大輪田の間

3 主 催 (一社)兵庫県民間病院協会、(一社)兵庫県病院協会、兵庫県病院企業年金基金、兵庫県病院協同組合、(一社)兵庫県全日本病院協会、兵庫県医療法人協会

4 スケジュール

(1) 特別講演会 (15:00～16:45)

講 師 社会保険診療報酬支払基金
理事 山本 光昭 氏

演 題 「医療政策の動向と今後の病院経営の展望」

(2) 懇親会 (17:00～19:00)





医療法人信和会

めいわりハビリテーション病院



事務長代理
杉 一樹

めいわりハビリテーション病院は、阪神甲子園駅から南に徒歩15分、明和病院からも車で約10分の場所に位置し、令和6年1月1日に開院致しました。

明和病院の100床と以前によりお付き合いのあった西宮市内の坂上田病院（療養病床53床）の経営統合にて昨年、秋に医療法人 信和会が発足され、地域包括ケア病棟50床、回復期リハビリテーション病棟50床、療養病棟53床で構成される153床の病院になります。

本院の特徴として、腎・透析室（透析病床5床）、機能訓練室、在宅医療に向けての訪問看

護センターを併設しています。

在宅医療に向けての橋渡しとなる医療施設であり、主に急性期病院での治療が終わった後のリハビリや療養を目的としている施設になります。

通常的一般外来は行っていませんが、超音波、CTなどの検査機器を有し、地域の先生の依頼に応じて検査を行います。

この度、「病院かわら版」への掲載の機会を頂きましたので、誌面をお借りして、簡単に院内のご紹介をさせていただきたいと思えます。

1階はエントランス、会議室、研修室、医局、職員ラウンジ、看護管理室、事務所、保育所などを設置しています。訪問看護センターは患者支援室と連携して入院患者さんの在宅復帰を支援しています。保育所は庭にも面しており、夏は水遊びなども可能です。



外観

2階には地域包括ケア病床50床とCT室、透視室を備えた放射線科検査室があります。透析室を5床用意、そのうち1床は個室です。主に下記の患者さんを対象としております。

- ・在宅からのレスパイト患者さん
- ・肺炎・尿路感染症などの亜急性期患者さん
- ・圧迫骨折等で急性期病院での入院適応のない患者さん
- ・回復期病棟で待機が長い患者さん

3階病棟は回復期リハビリテーション病床50床になります。

リハビリテーション室も同フロアに配置されて、365日、休日もリハビリを提供しています。

病室とリハビリルームが連結しており、設備も職種間の連携も取りやすくしています。

装具診 週2～4日、VF 週1回、VE 必要時適宜実施しております。

4階医療療養型病床53床です。浴室や生活機能訓練室を備えています。

数は多くありませんがリハビリテーションも提供しております。

その他、食事に関しては、衛生的かつ効率的な食事の提供を実現した新しい調理システムであるニュークックチルを導入しています。

また各病棟へは認証カードで入退室を管理しており、セキュリティの高い施設となっております。

医療法人信和会の理念は「親切と信頼をめざした医療」であり、理念浸透型・健康経営を主軸として運営しています。これからも社会貢献を果たすべく、民間・中規模の特色を生かし、「小回りの利く、親切で信頼できる総合病院」として、急性期医療に特化した「明和病院」とリハビリ慢性期医療に特化した「めいわりハビリテーション病院」との連携にて、地域の皆様のお役に立ちたいと考えています。

今後ともよろしくお願い致します。



リハビリ室（3階）



リハビリ室（3階）



機能訓練室（ADL練習室）4階



院内保育所 1階

エ リ ア 情 報

神戸

(公社) 神戸市民間病院協会
令和6年11月度 第5回理事会

日 時 令和6年11月14日(木)
15:00～15:40
場 所 神戸看護専門学校 8階 講堂

理事総数15名 出席理事数10名
監事総数2名 出席監事数1名

出席役員

代表理事 (会長) 西昂 (議事録作成者)
理 事 高橋玲比古、吉田寛、宮地千尋、
金守良、稲見直邦、中井正信、
藤井正彦、大西安代、中野市雄
監 事 西村元延

出席参与・参事

参 与 山本正之、具英成
参 事 金澤秀市朗、横内幸男、阿児良典、
谷口美幸、岩城一男、高田郁子

上記のとおり出席があったので定款第33条の規定により会長 西昂が議長となり、開会を宣し議事に入った。

報告事項1 令和6年10月度管理部門並びに看護専門学校の収支報告

議長の指名により事務局長から、10月度管理部門並びに神戸看護専門学校収支について報告を行った。

報告事項2 学校報告

議長の指名により大西学校長から下記の報告を行った。

(1) 学生の状況

1年生:

基礎看護技術試験に向け技術の練習に励んでいる

2年生:

旧カリキュラム対象の2名が実習

10月28日～11月15日 老年看護学実習Ⅱ

3年生:

10月8日～11月25日

看護の統合と実践実習・地域在宅看護論実習

第114回看護師国家試験 願書提出に向け準備中

※10月以降 コロナ・インフルエンザ感染者0名

(2) 2025年度入学試験について

11月1日:

推薦入試・社会人入試 終了

受験応募者数:62名 受験者数:61名

11月12日:

入試会議にて合否判定

11月13日:

合格発表

*ホームページにて発表

12月10日:

一般入試(一次試験)

場所:本校8階講堂

試験科目:国語・面接・書類審査

願書受付:11月14日～11月25日

(3) 今後の予定

12月20日 13:30～16:30

臨地実習指導者研修会

本校8階講堂にて開催

テーマ:心理的安全性の構築と対話的な学習支援を行うために

講師:折尾愛真高等学校 看護専攻科 高橋 聖子 先生

エ リ ア 情 報

現在、実習病院へ案内送付し参加者募集中

報告事項3 事務長部会・看護部長部会の取り組み

議長の指名により事務局長から、事務長部会の第2回研修会（10月18日）の実施結果の報告及び事務長部会・看護部長部会年末合同研修会（11月29日）の開催内容について報告を行った。

また、多くの病院にeラーニングの導入が進んでいる現状を踏まえ、事務長部会、看護部長部会、協会事務局の三者で、来年度の研修内容を検討するにあたり、会員病院への研修ニーズに係るアンケートを実施する旨報告した。

議題1 自民党神戸市会議員団との要望懇談会について（報告）

議長の指名により事務局長から、令和7年度神戸市予算要望に係る自民党神戸市会議員団との要望懇談会（10月21日）について、7月理事会において承認された「固定資産税・都市計画税半額免除の復活」要望を踏まえ、四病院団体協議会の厚労大臣等への「病院への緊急財政支援要望」の動きなど民間病院を取り巻く状況について当協会より説明し意見交換を行った旨報告した。

議題2 医療・介護従事者向け人生会議（ACP）実践報告会について

議長の指名により事務局長から、医療・介護従事者向け人生会議（ACP）実践報告会（12月12日、神戸市健康局主催）の内容及び会員病院へ案内する旨説明を行った。

議題3 神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクトについて

議長の指名により事務局長から、神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクトである「ネットワーク交流会×介護・医療管理者向

けワークショップ」（12月19日、神戸市福祉局・日本ノーリフト協会）の内容及び会員病院へ案内する旨説明を行った。

議題4 その他

市医師会との懇談会

11月14日（木） 17：10～

神戸看護専門学校 8階会議室

12月理事会

12月12日（木） 15：00～16：00

（一社）神戸市第二次救急病院協議会 第5回理事会議事録

日 時 令和6年11月14日（木）

15：55～16：40

場 所 神戸看護専門学校 8階 講堂

出席役員 理事10名 監事1名 実行委員7名

議 長 高橋 玲比古 会長

議 題

1 令和6年度年末年始当番体制について

釜戸事務局長より年末年始の当番体制の現状報告があり基本科目及び整形外科専門科目において当番日は昨年と同様程度充当されているがやはり空白日があり特に基本科目当番枠は多数の空白があるので例年通り基本科目、整形外科専門科目に当番強化期間特別加算金を設ける提案があった。その提案の加算金内容は昨年度と同様で強化期間は6日間（12月29日～1月3日）とし其々当番1単位で3万円に設定するとした。但し今年度の年末年始は、暦では、当該6日間が前後土日曜日に挟まれた配置になっており、年末年始が9日間の様な状況に思われる。同様の年度は遡ると令和元年度も同一暦になっており、令和元年度の特別加算金期間はやは

事務長会定例会 議事録

り6日間で神戸市からの補助金算定期間も6日間となっていた。更に今年度の神戸市補助金算定期間も6日間となっている事を確認し強化期間を6日間とした。加えて同期間において神戸市より例年通りの加算補助金が予算化されていることも報告された。これを受け高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。早速、明日事務局より会員病院に文書にて通知し、空白日当番を募集する事となった。

2 その他

高橋会長から、代表出席されている委員会等での幾つかの報告事項があった後、理事からMefis運用上での救急搬送に関する膨大なデータの活用についての意見があった。この件については以前より理事会においても議題提供されており、検討し始めていた状況であったが、神戸市消防局からの消防システムの大規模なシステム改革の報告があり、そのシステムへのMefisシステムとの統合の提案があった。その統合への提案がまだ予算等詳細なものではなかった為、もう少し詳細な提案を提出してもらうまで、Mefisデータの運用検討も中断している状況であった。そこで高橋会長から、とりあえず事務局に神戸市消防局へ消防システムの進捗状況を確認する依頼があり、後日、その結果を事務局から高橋会長に報告する事となった。

日 時 令和6年11月15日(金) 15:00～
場 所 小田北生涯学習プラザ 学習室1
出 席 西宮、宮宗、井上、河上、岡田、池上、堀、斎藤、徳岡、向井、辻井、浦野、榊、西原、畑林、野崎、廣、山本、鈴木、丸中、倉富、石橋 計22名

議 題

- 1 (株)メディセオによる診療報酬勉強会
 - ① 外来機能について
 - ② リハビリテーションについて
- 2 第42回 事務長会・看護部長会合同研修会報告 (担当：西宮会長)
10月26日(土) シーサイドホテル舞子ビラ神戸にて盛大に開催された。
当支部の担当は2年後であり、今後内容を検討していく。
- 3 診療報酬改定情報交換 (担当：各事務長)
特に問題を抱えている病院はなかった。
- 4 近畿厚生局適時調査・保健所病院立入検査情報交換
近畿厚生局適時調査が行われた病院より報告がなされた。今まで報告されている専従要件・院内掲示物・保険医登録等の他、ベースアップ加算の3、6、9、12月の見直しを適切に行っているかどうか注意喚起があった。
保健所による病院立入検査については、ほぼ例年通りの様子であった。

次回開催予定

日時：令和6年12月20日(金) 15:00～
場所：小田北生涯学習プラザ

西阪神

2024年度 事務長研修会 議事録

日 時 令和6年11月21日(木)
15:00～16:40
場 所 西宮医師会 会議室
出席者 33名のうち16名出席
議 長 野原会長
書 記 榎本会報編集委員

事務長会に先立ち、(株)イントラスト様より「連帯保証人代行制度について」の研修会を実施

議 案

- 1 医事部会より報告（野原会長）
 - ・医事部会の議事録より、連絡事項1項目、議題8項目の報告がなされた。
- 2 非常勤放射線技師へのフィルムバッチ装着について（宝塚磯病院 森内事務長）
 - ・非常勤放射線技師へのフィルムバッチの装着について、出勤見込みの少ない契約上の技師に対して、どこまでフィルムバッチを準備すべきか情報交換がなされた。
→ポケット線量計などを用いて、安価に不特定多数の線量管理ができる方法もある。
- 3 令和6年度 会報編集委員会での協議結果の報告（会報編集委員 榎本編集委員）
 - ・11月11日(月) WEB開催された「令和6年度 会報編集委員会」について、議題内容や協議結果について報告がなされた。
→兵庫県民間病院協会の「令和7年度の会報誌の原稿執筆分担」について、西阪神支部の担当分は、西阪神支部 会長・副会長にて担当病院を決める。
→同会報誌の令和7年7月号で予定してい

る「誌上シンポジウム」について、テーマが「医療DXへの取り組み」に決まったことが報告され、西阪神支部の執筆担当として、めいわりハビリテーション病院に決まった。

- 4 厚労省の両立支援助成金について（野原会長）
 - ・厚労省の雇用関係助成金の情報について、育児休業等支援コースや両立支援関連コースなど、情報交換がなされた。
- 5 サイバーセキュリティにおける新たな手口について（宝塚磯病院 森内事務長）
 - ・院内において、ランサムウェアに感染したことを伝えるFAXを受信。警察・厚労省・医師会等の公共機関に連絡し調査を行ったが、結果的に「ランサム感染を偽装したFAX」であることが判明。実際にウイルスには感染していなかったが、手口が多様化しているため注意が必要。
- 6 委託給食の値上げについて（野原会長）
 - ・人件費および材料費の高騰を背景に、委託給食会社から値上げ要求があった。日本の経済状況から致し方ない部分はあるが、病院経営への圧迫を少しでも和らげるため、情報交換がなされた。
- 7 年末特別講演会の周知（野原会長）
 - ・12月3日(火)に開催予定の「令和06年 年末特別講演会および懇親会」について周知がなされた。
- 8 西阪神支部・東阪神支部 合同新年会について（野原会長）
 - ・西阪神支部・東阪神支部 合同新年会について、2025年1月17日(金)に開催日が確定したことが報告された。
→合同新年会の開催日に合わせる形で、2025年1月の西阪神支部の事務長研修会の開催日が、1月16日(木)から1月17日(金)への変更が承認された。

エ リ ア 情 報

◎ 次回の事務長研修会の予定

- ・日時：令和6年12月19日(木) 15:30～
 - ・場所：西宮医師会 会議室 (予定)
- ただし、新型コロナウイルス感染症の感染動向により、変更や中止の場合がある。

西 播

令和6年度 第6回 理事役員会

日 時 令和6年11月30日(土) 13:00～
場 所 姫路キャッスルホテル 2階松竹の間

議 題

- 1 兵庫県民間病院協会 理事会からの報告
 - (1) 令和7年度 定例理事会等の開催日程について
 - (2) 令和7年度 役員改選に伴う次期役員候補者の推薦について
 - (3) 編集委員会からの報告及び会報発行等の見直しについて
 - ① 令和7年会報について
 - ② 会報発行等の見直しについて
 - ③ 令和7年1月号「年頭所感」
【原稿締切】令和7年1月6日(月)
 - (4) 経営労務委員会からの報告
「病院給与・労働条件実態調査」の実施について
 - (5) 第15回ヤングフォーラムの開催について
 - ① 日時 令和7年1月18日(土)
16:00～19:30
 - ② 場所 ザ マーカススクエア神戸
5階ミッドタウン
(神戸ハーバーランドホテルクラウンパレス神戸内)
神戸市中央区東川崎町1-3-5
 - ③ 講師 ^{おさ}長 英一郎 氏
(公認会計士、税理士)
 - ④ 演題 医療DXをテーマに調整中
- 2 西播民間病院協会 検討・報告項目
 - (1) 令和6年度 西播民間病院協会 会員病院会費徴収及び特別会費徴収について

東 播

第612回 事務長会・役員会 議事録

日 時 令和6年11月12日(火)
16:30～17:30
場 所 ホテルキャッスルプラザ
出席者 黒川、田中、西井、伊福、船木、永田、
藤井

協議事項

- 1 令和6年10月の会計報告
 - ・10月の収入支出報告及び決算報告
一同承認
 - ・合同研修会に関わる入金の確認あり
- 2 今年度の事業計画について
 - ・今年度中、追加で研修会は行わない。
 - ・次年度研修会の内容については看護部とも協議する。
- 3 医療情報交換 等
 - ・行政による監査に関する意見交換があった。
 - ・人材採用に関する意見交換があった。
- 4 その他
次年度の会長、副会長 人選の件
- 5 次回開催予定
 - ・12月10日(火) 16:30～
ホテルキャッスルプラザ
 - ・会議後、懇親会開催予定

エ リ ア 情 報

- (2) 令和7年度年間事業計画(案)について
- (3) 第43回一般社団法人兵庫県民間病院協会
事務長会・看護部長会合同研修会について

- ① 開催日 令和7年10月25日(土)
- ② 場 所 ホテル日航姫路

3 その他

- (1) 次回役員会の日程
日時：令和7年3月29日(土) 13:00～
場所：姫路キャッスルホテル
2階松竹の間

令和6年度 事務長会 研修報告

下記研修会を兵庫県民間病院協会西播支部事務長会及び兵庫県民間病院協会西播支部看護部長会が姫路市病院事務長会と合同で開催した。

日 時	令和6年11月19日(火) 14:00～16:00
場 所	姫路市医師会館大ホール
講 師	自律進化組織研究所 代表 三好 章樹 氏
内 容	『組織が強くなる！ 攻めのカスタ マー・ハラスメント対策』 カスハラ対策で強い組織になる方法
参加人数	159名

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO みずほ信託銀行

みずほ信託銀行は

「お客さまから最も信頼される信託銀行」をめざします。

当行は、高度な信託機能・高いサービス提供力と

〈みずほ〉のグループ力により、

お客さまの多様なニーズにお応えします。

みずほ信託銀行 大阪年金営業部

TEL 06-6201-3003

(兵庫県病院企業年金基金 総幹事会社)

協会だより

令和6年12月 3日(火) 令和6年 年末特別講演会・懇親会
18日(水) 会報編集委員会
27日(金) 仕事納め

〔予定〕

令和7年1月 6日(月) 仕事初め
16日(木) 理事会
17日(金) 会報編集委員会
18日(土) ヤングフォーラム

SOMPO

受け継ぐのは、人への思い。

私たちのはじめは130年以上前の明治時代。
「人々の暮らしや幸せをお守りしたい」
この創業の思いが、原点であり原動力です。
これからも、すべての人々の幸せとより良い社会の実現に向け、
私たちは挑み続けます。

東京の街を守るため結成された
私設消防団「東京火災消防組」(1888年)

損保ジャパンの
ブランドストーリーは
こちら▶

損保ジャパン

(一社)兵庫県全日本病院協会だより

一般社団法人 兵庫県全日本病院協会

令和6年度 第5回理事会議事録(速報)

I 日 時 令和6年11月21日(木)
15:05～16:15

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第4・5会議室

III 出席者 理事総数14名 出席理事11名
監事総数2名 出席監事2名
理 事：西昂(会長)、吉田寛(副会長)、
鄭正秀(副会長)、橋本創、常岡豊、
越智豊、宮地千尋、中井正信、
大石麻利子、譜久山剛、古城資久
監 事：大隈健英、東靖人

なお、吉田寛、常岡豊、越智豊、宮地千尋、
大石麻利子、譜久山剛、古城資久はWeb会議シ
ステムにより出席した。

IV 会議の成立

理事11名が出席し、定款第35条に規定する定
足数を満たしており、本理事会が成立した旨確
認された。

V 議 長

西昂会長が、定款第34条の規定により議長と
なった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1) 令和7年度定例理事会等の開催日程に
ついて(共通事項)

(2) 令和7年度役員改選について

西会長より、令和7年度役員改選につ
いて、原則として現役員は留任でお願い
したいとの発言があり、協議の結果、全
員一致をもって承認し、可決した。

これを受けて、橋本事務局長より令和
7年1月に各役員のご意向を確認後、退
任希望者があれば西会長と協議の上、3
月の理事会で候補者案をお示ししたいと
の説明があり、了承された。

(3) 第15回ヤングフォーラムの開催について

譜久山理事より、第15回ヤングフォー
ラムを下記の日程及び講師により開催す
ることについて説明があり、協議の結果、
全員一致をもって承認し、可決した。

①日 時 令和7年1月18日(土)
16:00～19:30

②内 容

(1)情報提供 (16:00～16:15)

内容 「未収金対策について」

講師 弁護士 森 理俊 氏

(株)AtoJ CEO、S & W国際法
律事務所)

(2)講演会 (16:15～17:45)

演題 「医療DXの病院経営に与える効果と導入に際して必要になるスキル」

講師 公認会計士・税理士
長 英一郎 氏

(3)懇談会 (17:50～19:30)

③会場 ザ マーカスクエア神戸
5階ミッドタウン
神戸ハーバーランドホテルク
ラウンパレス神戸内
神戸市中央区東川崎町1-3-5

④参加費 講演会・懇談会 15,000円
講演会のみ 5,000円
懇談会のみ 10,000円

2 報告事項

(1) 令和6年年末特別講演会・懇親会の役割分担について (共通事項)

(2) 会員の変更について

西会長から、以下のとおり会員の変更が報告された。

病院名(法人名省略)	立花病院	
新会員名	役職	病院長
	氏名	てらだ まさみ 寺田 雅己
旧会員名	役職	病院長
	氏名	いしがみ よしき 石上 義樹
変更年月日	R6.11.1	

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。

公益社団法人 全日本病院協会

2024年度 第8回常任理事会

日時 2024年11月16日(土) 13:00～16:00

場所 全日本病院協会 大会議室

出席者 定数25名、出席14名

議事要旨 (抜粋)

【主な報告事項】

●中央社会保険医療協議会 総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第597回・2024.11.6)

- ・診療報酬基本問題小委員会から、2024年度に実施する7項目の調査概要、調査票案、調査スケジュールが提示され了承された。
- ・2024年能登半島地震による被災に伴う被災地

特例措置の今後の取り扱いについて、特例措置の期限を2025年3月末まで延長した上で、当該特例措置を活用している保険医療機関数等をアンケート等により把握し、その結果をもとに、期限を延長するかどうかを検討することが提案され、了承された。

- ・DPC対象病院の合併・退出等にかかる手続きの見直し案が提示され了承された。

- マイナ保険証の利用促進等について、12月2日以降の医療機関等の窓口における資格確認方法等について説明が行われた。

●中央社会保険医療協議会 総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第598回・2024.11.13)

- 薬価専門部会・費用対効果評価専門部会合同部会がとりまとめた「高額医薬品（認知症薬）に対する今後の対応について案」が提示され、了承された。
- ドナネマブ（遺伝子組換え）の最適使用促進ガイドラインが改訂されたため、保険適用上の留意事項通知を発出した旨が報告された。
- 費用対効果評価専門組織から、3品目の費用対効果評価結果に基づく価格調整案が提示され了承された。
- 2024年12月1日収載予定の医療機器・臨床検査、2024年11月20日収載予定のPETの保険適用が了承された。
- 診療報酬改定結果検証部会がとりまとめた、「2024年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（2024年度調査）の調査票案」が提示され、了承された。
- DPCにおける高額な新規の医薬品等への対応について、2024年8月28日、9月13日及び24日に新たに効能又は効果及び用法又は用量が追加された医薬品、2024年8月2日に公知申請が受理された医薬品並びに2024年11月20日に薬価収載を予定している医薬品等については、包括評価の対象外とし、次期診療報酬改定までの間、出来高算定するとの説明があり、提案通り了承された。
- 在宅自己注射指導管理料の対象薬剤2点を追加する旨の説明があり了承された。
- 福岡資麿厚生労働大臣より、小塩会長宛に「保険医療機関等における資格確認方法の変更に伴う所要の見直しについて」の諮問が行われたことが説明された。
- 諮問のあった「保険医療機関等における資格

確認方法の変更に伴う所要の見直しについて」、議論を踏まえてとりまとめた答申書が提示され、1号側（支払側）・2号側（診療側）ともに了承された。

両号の同意を得た答申書は、小塩会長から鹿沼保険局長に手渡された。

●社会保障審議会医療部会について

神野副会長より下記の報告がされた。

(第111回・2024.10.30)

- 美容医療の適切な実施に関する検討会の議論の状況について報告が行われた。
 - 適切なオンライン診療の推進について、現行制度の運用を活かす形で、医療法にオンライン診療の総体的な規定を設ける案が提示され議論した。
 - 医療DXの更なる推進として、①電子カルテ情報共有サービス、②自治体と医療機関・薬局をつなぐ情報連携基盤（PMH：Public Medical Hub）の構築を通じた医療費助成の効率化、③「医療機関・薬局間の情報」の共有・標準化等について報告が行われた。
 - 産科医療特別給付事業案について対応案が提示され了承された。
 - 非密封放射性同位元素を用いた医療機器及び医薬品等の医療法上の取扱いについて報告が行われた。
(第112回・2024.11.15)
 - 新たな地域医療構想の現時点の検討状況が報告された。
神野副会長は、病床機能・医療機関機能の整理（イメージ）として提示された事項のうち、4つの地域ごとの医療機関機能の位置づけ・名称等に対し、慎重な検討をするよう求めたことを報告した。特に、「高齢者救急等機能」という名称が国民に誤解を与えると指摘した。
- #### ●医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会について
- 神野副会長より下記の報告がされた。

(第7回・2024.10.30)

- 今後の医師偏在対策について、診療科間の偏在について対応案が提示され議論した。
- 2026年度医学部臨時定員に係る方針について説明が行われ議論した。

神野副会長は、医師養成数の議論を行う前に強力な医師偏在対策を進めるべきと主張し、2026年度医学部臨時定員に係る方針については座長預かりとなったことを報告した。

●新たな地域医療構想等に関する検討会について 猪口会長より下記の報告がされた。

(第11回・2024.11.8)

- 新たな地域医療構想について、①外来・在宅医療・介護との連携等、②医療機関機能について論点が提示され議論した。

猪口会長は、地域ごとの医療機関機能として、①高齢者救急等機能、②在宅医療連携機能、③急性期拠点機能、④専門等機能の位置づけと名称に対して、検討会において猪口会長をはじめ複数の医療団体の委員から異論が出ていることを報告した。

特に、『『高齢者救急等機能』という名称は、現実には高齢者以外の一般救急も受け入れているのに、国民からみて高齢者専門の病院だと誤解を招くネーミングであり、小児や若年者の救急が『広域な観点の医療機関機能』を担う三次救急医療機関に集中してしまう』などの懸念を示した。

また、地域ごとの医療機関機能に「慢性期」の病院が位置付けられていないことに対しても慎重な検討を求めたことを報告した。

●2024年度病院経営定期調査【3団体合同】結果報告(案)・最終報告(集計結果)(案)について

津留常任理事より下記の報告がされた。

- 回答数は1,356病院、うち有効回答数は1,242

病院であった。

- 調査結果年度(2022年度/2023年度)比較によると(100床当たり)、医業利益は-20,563万円から-20,195万円と赤字が若干縮小した。経常利益はコロナ関連の補助金を除くと、-7,700万円から-8,426万円に赤字が拡大した。医業利益の赤字病院の割合は74.8%から74.9%に微増した。経常利益の赤字病院の割合は23.0%から53.4%に増加し、コロナ関連の補助金を除くと62.9%から65.3%に増加した。

なお、結果報告については、3団体確認後に公表することになっているため、後日、ホームページに掲載することとした。

●各種研修会案内について

猪口常任理事より、各種研修会を下記の通り開催することが報告された。

- (1) 2024年度病院情報セキュリティ対策WEBセミナー(オンライン)
～医療機関に求められるITセキュリティ～
 - ・日時 2025年1月26日(日)
13:00～16:30
 - ・定員 100名
 - ・参加費 会員5,500円(税込) / 非会員8,800円(税込)
- (2) 第13回若手経営者の会
 - ・日時 2025年2月8日(土)
18:00～22:00
(終了後に懇親会開催)
 - ・会場 東京ドームホテル
B1階「天空ノース」
 - ・定員 100名
 - ・対象 原則55歳以下の病院経営者及び病院経営者候補
 - ・参加費 会員7,700円(税込) / 非会員9,900円(税込)
※懇親会(希望者のみ) 11,000円(税込)



兵庫県病院協同組合だより



金額単位：円

11 月 度 事 業 報 告	種 目	件 数	取扱高	前年同月比	種 目	件 数	取扱高	前年同月比
	1. 融 資	0 病院			6. 牛 乳	1 病院	20,958	△ 10,178
	2. 寝 具	26 病院	6,811,173	51,537	7. 防 虫	0 病院	0	0
	3. 白 衣	22 病院	8,892,839	△ 515,378	8. 保 険 (手数料収入)		21	0
	4. 患 者 衣	9 病院	639,617	△ 102,234	9. 飲 料 (手数料収入)		5,462	△ 2,087
	5. パ ン	0 病院	0	0	10. そ の 他 (手数料収入)		0	△ 31,261

11月理事会について

日 時 令和6年11月21日(木)
14:30～15:00
場 所 兵庫県医師会館 6階 第1会議室

役員総数 理事8名、監事2名
出席監事 8名（うち本人出席5名）
（うち議決権行使書出席3名）
出席監事 0名

議 題

1 報告事項

- (1) 10月度事業及び収支について
・事務局長より資料に基づき報告、了承された。

2 協議事項

- (1) 四国銀行と当組合の口座振替契約について
今般、四国銀行から「総合振込依頼書」の受付終了の書面が届き、現在6病院で口座振替を行っているが、2026年3月以降は取扱いができなくなる旨説明。

四国銀行からは対応として新たに「インターネットバンキング」契約を行って、口座振替ができる旨の案内があるが、当組合の手数料が現状の3千円/月から6千円/月にコストが増すことから、別途対応策等協議した。

理事から、組合のコストが増加してまで口

座振替を行う必要があるのかとの意見や、コストが増加しない他の代替手段等はないのか等意見があり、再度検討することとなった。

3 その他事項

- (1) あっ旋事業の状況等について

例年通り、家庭常備薬のあっ旋を実施している旨報告した。

医療現場のDX化など病院経営に参考となる提案を業者と協議している旨報告した。

有益なものについて、今後役員会で議案として審議頂く事です承された。

- (2) 令和6年 年末懇親会の開催について
(6団体合同)

日時：令和6年12月3日(火)

17:00～19:00

会場：神戸ポートピアホテル

賛助会員企業、当組合取引業者、取引金融機関等11団体に案内した旨報告した。

10月に議案審議したパソコンの入替については、理事から機種、業者について再度検討をするようにとの意見が出され、引続きコスト等考慮して検討することで了承された

- (3) 次回役員会等の開催日時について

・定例役員会

令和7年1月16日(木) 14:30～15:00

医師会館6階 第1会議室

兵庫県病院企業年金基金だより

兵庫県病院企業年金基金資産別運用状況一覧表 (2024年4月～2024年11月)

収益率計算方法 : 修正ダイナミック法
 総合口6資産分解 : 分解する

ファンド名	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		キャッシュ等 (短期資金)		その他		資産全体		金額単位 : 円 資産全体 修正総合利回り (構成比)
	時間加重 時価総額 (構成比)	金額加重 時価総額 (構成比)													
	ベンチマーク	-2.32%	-	-1.98%	-	1.66%	-	12.28%	-	0.01%	-	0.01%	-	-	
総合計	-2.15%	-	-1.94%	-	1.75%	-	12.77%	-	0.03%	-	2.72%	-	0.50%	-	0.50%
みずほ信託銀行合計	4,758,773,553	52.27%	903,387,555	9.92%	824,064,867	9.03%	924,761,982	10.16%	340,500,189	3.74%	1,354,332,120	14.88%	9,103,820,266	100.00%	100.00%
みずほ信託銀行パ ランス	-2.32%	-	-1.99%	-	1.77%	-	12.83%	-	0.02%	-	2.86%	-	0.64%	-	0.64%
みずほ信託銀行パ ランス	3,040,881,863	47.44%	609,318,475	9.51%	554,703,162	8.65%	633,803,566	9.89%	280,387,879	4.37%	1,290,279,064	20.13%	6,409,373,999	100.00%	70.40%
みずほ信託銀行パ ランス	-2.32%	-	-1.99%	-	1.77%	-	12.83%	-	0.02%	-	-	-	0.10%	-	0.09%
みずほ信託銀行パ ランス	3,040,881,863	59.40%	609,318,475	11.90%	554,703,162	10.84%	633,803,566	12.35%	280,378,861	5.48%	-	-	5,119,085,917	100.00%	56.23%
みずほ債券 S A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01%	-	-0.26%	-	-0.26%	-	-0.26%
みずほアラロン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.12%	-	6.12%	-	6.12%
みずほアラロン	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00%	-	639,094,824	100.00%	639,103,842	100.00%	7.02%
三井住友信託銀行パ ランス	-2.27%	-	-1.85%	-	1.69%	-	12.57%	-	0.00%	-	0.02%	-	0.10%	-	0.10%
三井住友信託銀行パ ランス	768,886,004	60.24%	153,216,800	12.00%	138,864,557	10.88%	151,283,328	11.85%	0	-	64,053,056	5.02%	1,276,303,745	100.00%	14.02%
三井住友信託銀行パ ランス	60,240,000	60.24%	12,000,000	12.00%	10,880,000	10.88%	11,850,000	11.85%	0	-	5,020,000	5.02%	651,184,240	100.00%	7.15%
三井住友信託銀行パ ランス	-2.27%	-	-1.81%	-	1.75%	-	12.72%	-	0.11%	-	-	-	0.11%	-	0.11%
三井住友信託銀行パ ランス	711,857,186	60.31%	140,852,280	11.93%	128,497,148	10.89%	139,675,088	11.83%	59,516,778	5.04%	-	-	1,180,398,480	100.00%	12.97%
りそなマルチ	0.77%	-	-	-	-	-	-	-	0.01%	-	-	-	0.77%	-	0.77%
りそなマルチ	237,148,510	99.75%	-	-	-	-	-	-	595,532	0.25%	-	-	237,744,042	100.00%	2.61%

注) 「ファンド名」- 「ベンチマーク」は、ファンド「総合計」のベンチマークの値を表示。

ISR

Intelligent Social Reliance
アウトソーシング サポート



ISRビル (統括本部)

〒650-0026
神戸市中央区古湊通1丁目2番
(ISRビル)

(業務案内)
TEL 0120-366-761
www.isr-group.co.jp

社会保険労務士
ISR 梨本

働き方改革策定

労働条件・ハラスメント

労働保険事務組合
経営者会議

概算確定・労災特別加入

合同会社
ISR パーソネル

副業推進支援

人材紹介・リーダー育成

ISR e-Sports

シニア躍動・企業健康経営

株式会社
アイ・エス・アール

データセンター ISR

レセプト管理・情報デザイン

ISRサテライトオフィス

リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上 そして社会貢献

男女共同参画社会づくり協定グループ (兵庫県)

病院年報・周年記念誌

承ります！

会報、大学要項など
70年以上の実績があります。



今ご覧いただいている会報誌も弊社で作成いたしました。

患者様向け小冊子

も承っています！

例えば、診察・入院・手術などの手引書を、
幅広い年代や、日本語が不慣れな方向けに

- ・ 翻訳
- ・ イラスト作成
- ・ ストーリー仕立てのまんが化

動画にも
できます

すべてまるっと、お任せください！

印刷以外も

ご依頼ください！



ホームページ



動画



デジタルサイネージ



看板



資料のデジタル化
(冊子・図面など)

情報をデザインする会社



株式会社 七旺社

URL : <https://www.shichiou.co.jp>

TEL : 078-575-5212

FAX : 078-577-8366

e-mail : info@shichiou.co.jp

〒653-0012 神戸市長田区二番町4丁目27番地



担当：高田まで

医療・福祉のスマート経営に、
アプリケーションは自由自在。



多様な業務をコーディネートし、お客様に合ったサービスをお届けします。
業務内容の組み合わせも、お気軽にご相談ください。

医療・福祉事業経営のトータルアウトソーシング・ソリューション ワタキューグループの[包括委託サービス] (セイモアシステム)

包括的に一元的に医療経営・福祉事業経営をサポートする[セイモアシステム]は、ワタキューグループ各社の協力体制で実現しています。

- ワタキューセイモア(株) / リネンサプライ・販売・総合サポート
- (株) フロンティア / 調剤薬局事業・福祉用具レンタル・販売事業
- 日清医療食品(株) / 給食受託事業・在宅配食サービス事業
- (株) メディカル・プラネット / 人材紹介・派遣・研修事業
- 綿久リネン(株) / ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- 古久根建設(株) / 総合建設業



健康と快適の明日を考える

ワタキュー セイモア株式会社

www.watakyu.co.jp

近畿支店 / 〒610-0396 京都府綴喜郡井手町多賀茶臼塚12-2 TEL 0774-82-5101

神戸営業所 / 〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台北町7-4-1 藤田建設ビル2F TEL 078-982-2940

業務案内

兵庫県病院協同組合 (設立昭和 37 年)

幹 旋 及 び 取 扱 い	基準寝具及び 白衣・患者衣の賃貸	○ワタキューセイモア(株)
	牛乳	○(株)共進舎牧農園
	ねずみ・衛生害虫防除	○アペックス(株)
	自動販売機による飲料	○(株)チェリオ Co.、ダイナミックベンディングネットワーク(株) 関西コーヒー(株)、(株)アペックス西日本、 関西キリンビバレッジサービス(株)
	保 險 代 理 店	○損害保険ジャパン代理店 (組合募集代理店…(株)インシュアランスサービス) 兵庫県民間病院協会の会員病院、従業員を対象とした自動車保険・火 災保険等の取扱い ○アフラック生命保険株式会社 (組合募集代理店…(株)エイフ) 組合員病院、従業員を対象とした集団扱い商品(がん保険)の取扱い
	自 動 車 リ ー ス	○(株)イチネン
	家庭常備薬、サプリメント (対象:組合員病院の全職員)	○(株)諒和(旧 大日商事(株)) 組合員病院の職員の福利厚生及びその家族の疾病予防、健康増進の一 助として、年2回幹旋実施
	紳士服、レディース用品 (対象:組合員病院の全職員)	○(株)青山商事と提携 「洋服の青山」で買い物時、「AOYAMA タイアップカード」(入会無料) の提示により、通年、10%の割引(割引セールの場合は割引後の価格 から)が受けられる。(福利厚生の一助として)
引 越 (対象:組合員病院及び組合 員病院の全職員)	○(株)サカイ引越センターと提携 「特別割引専用ダイヤル」(TEL 0120-56-1141)で申込みと、特別優待 割引(引越基本料金の20%以上割引。但し3月15日～4月15日は除く) が受けられる。(福利厚生の一助として)	

※上記以外にも、オゾン方式グリーストラップ改善装置、転倒リスク軽減離床センサー、多言語映像通訳等の
病院関連商品をはじめ、病院運営に役立つ物品・機器の紹介や幹旋をおこなっています。

※また、院内業務改善やコスト削減、患者様へのサービス向上、職員の満足度向上等をお考えの組合員病院様に、
実現へのお手伝いができるよう、組合から適切な事業者・事業をご紹介し、ご提案などをさせていただきます。
お気軽にお問合せ下さい。

加入病院 120病院
 主な取引銀行 商工中金、みなど、日新信金他
 理事長 西 昂 (医療法人康雄会 西病院理事長)
 専務理事 鄭 正 秀 (医療法人社団博愛恵秀会 神戸博愛病院理事長)
 常務理事 森 村 安 史 (医療法人樹光会 大村病院理事長)
 事務局長 谷 水 直 人

- ・協同組合には10万円の出資金のみ拠出いただければご加入できます。ご加入後は年会費など頂戴するこ
とはありません。
- ・取扱い業務並びに組合加入その他詳細は協同組合事務局へお問い合わせください。

協同組合事務局・TEL (078) 230 - 2525
FAX (078) 230 - 2526



(一社)兵庫県民間病院協会会報

令和6年12月25日発行・通巻646号

発行人 一般社団法人 兵庫県民間病院協会会長 西 昂

〒651-0086 神戸市中央区磯上通6丁目1番11号 兵庫県医師会館7F

TEL (078) 230-1181 Eメール info@hgminkanhp.or.jp

URL <https://www.hgminkanhp.com>

編集者 東 靖人、榊 政重、榎本暁士、原 正也、山田泰嗣、吉田明史

印刷 (株)七旺社 神戸市長田区二番町4丁目27番地・TEL (078) 575-5212(代)